

こそだてねっちゅう
オアシスふちゅう



【令和6年度】 国の予算に関する提案書

マツダ株式会社
本社

府中町役場

イオンモール
広島府中

令和5年11月
広島県府中町

高尾山から府中町方面を撮影

～ごあいさつ～

府中町政の推進にあたりましては、平素から格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

また、昨年までの当町提案につきましても、格段のご配慮をいただきまして、着実に課題解決のための事業を推進することができておりますことについて、重ねてお礼申し上げます。

当町では、「府中町第4次総合計画」や「第2期府中町まち・ひと・しごと創生総合戦略」に掲げた政策、施策、事業を着実に実施することにより、「広島都市圏で一番の子育てしやすいまち」「志を育む教育のまち」「バランスのとれた行政施策の展開」を実現し、『住んでよかった、これからも住み続けたい』と実感できるまちを目指して取り組んでいるところです。

つきましては、当町の振興を図る上での最重点課題について、次のとおり提案させていただきますので、令和6年度の予算編成並びに施策の決定にあたりましては、なお一層のご配慮を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

令和5年11月

広島県安芸郡府中町

府中町長 佐藤 信治



提案にあたって

当町は広島駅の東方約 3km に位置し、周囲を広島市に囲まれた、町域僅か 10.41 km²（市街化区域は 5.64 km²）のまちです。町人口は約 5 万 3 千人で、日本で最も人口が多い町であり、人口密度が高いコンパクトシティを既に形成しています。また、広島地域経済を牽引する自動車メーカー（マツダ株式会社）の本社所在地でもあり、町内の向洋駅周辺はその玄関口です。

高度経済成長期に急発展したまちであるため、安心・安全の分野を中心とした課題がありますが、それらの課題を本提案項目の推進によって解決することは、地域経済活動の円滑化など、好循環にも資するものと考えられます。

全国的な人口減少社会に向かい、予算配分にあっては選択と集中の必要性がうたわれる中、広島都市圏中心部に位置し、高い人口密度と地域の基幹産業を有する当町の提案について、何卒ご高配をお願いいたします。

【 提 案 項 目 】

令和 6 年度府中町主要事業計画図	1
-------------------	---

《国土交通省関係》

1 広島圏都市計画事業

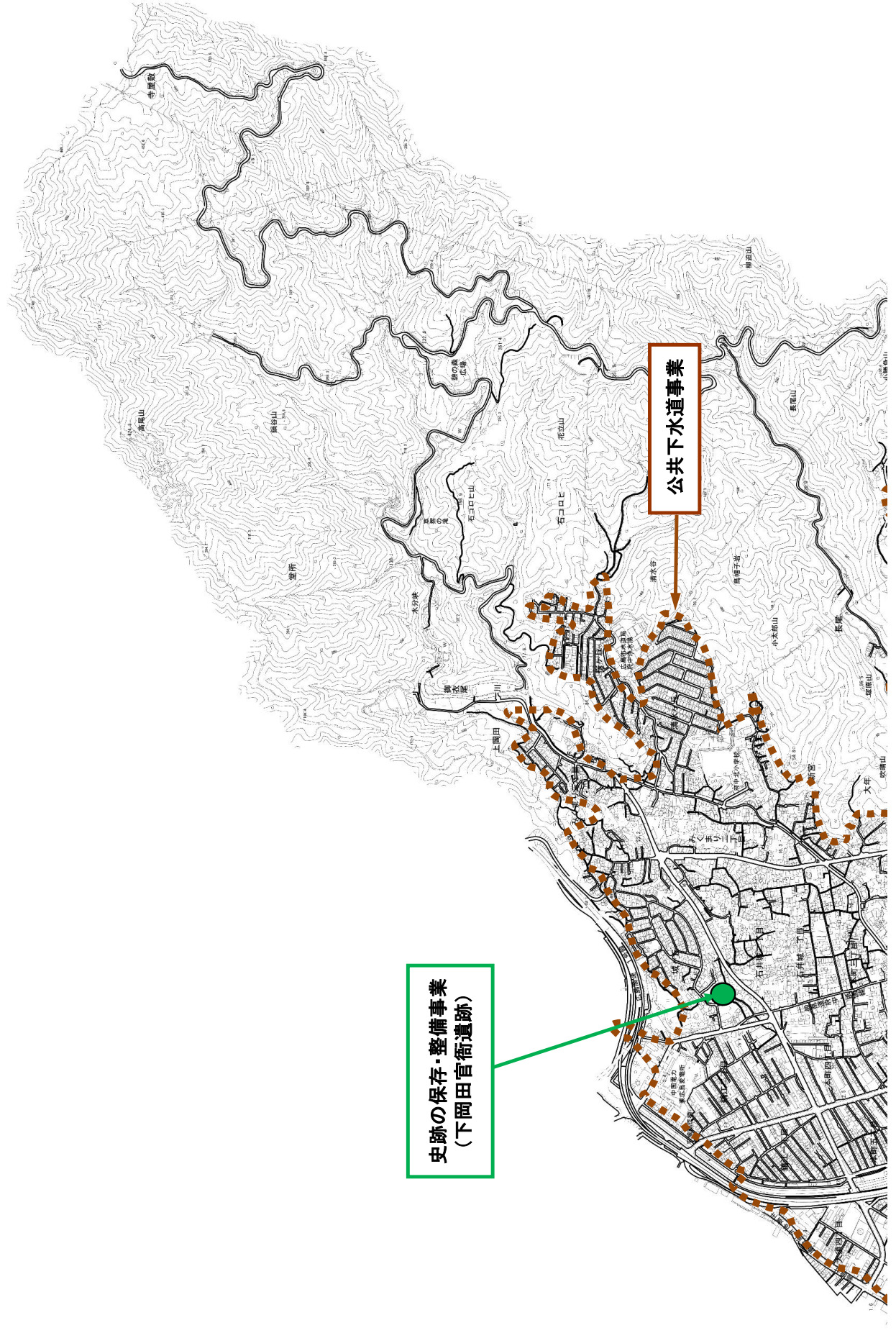
向洋駅周辺土地地区画整理事業の推進について	3
-----------------------	---

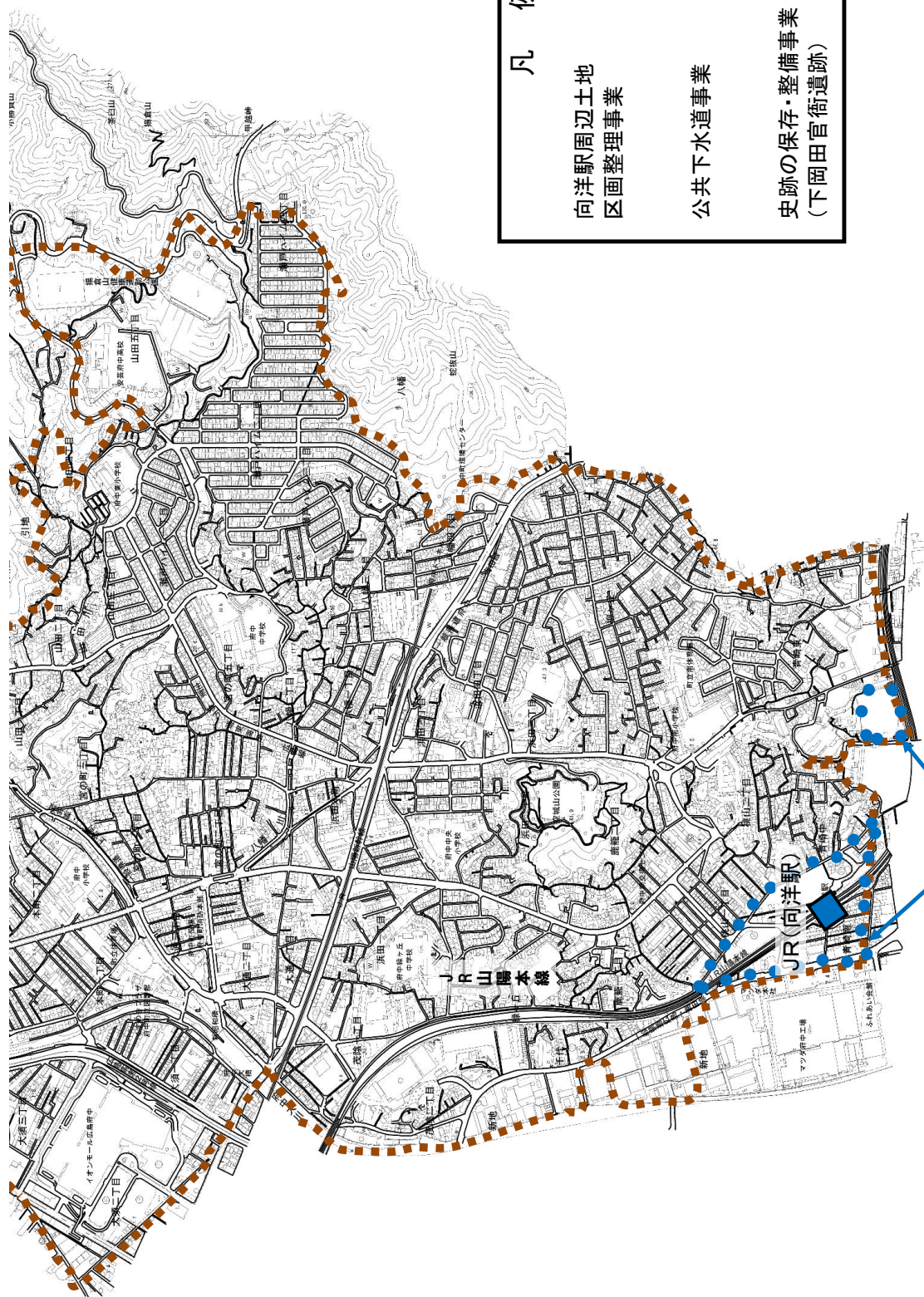
2 公共下水道事業の推進について	5
------------------	---

《文部科学省関係》

3 史跡の保存・整備事業の推進について	7
---------------------	---

令和6年度府中町主要事業計画図





凡 例

向洋駅周辺土地
区画整理事業



公共下水道事業



史跡の保存・整備事業
(下岡田官衙遺跡)



向洋駅周辺土地区画整理事業

提 案 項 目	広島圏都市計画事業 向洋駅周辺土地地区画整理事業の推進について				
事 業 主 体	府 中 町	事 業 期 間	H14～R15	提 案 先	国土交通省
提 案 要 旨	向洋駅周辺土地地区画整理事業の着実な推進のための事業費確保				

現状及び課題

【現 状】

向洋駅周辺地区は、地区の中央をＪＲ山陽本線が縦断しており、踏切による交通遮断に伴う渋滞が慢性的に発生しています。地区の北側は、連続立体交差事業に関連する区域を除き、概ね整備が完了していますが、南側は、老朽化している住宅や小規模な商業施設が密集し、都市基盤が脆弱な状況となっています。

また、鉄道により地域が分断されることにより地域の拠点としての機能が欠如しており、その解消に向けて、土地地区画整理事業、連続立体交差事業を一体的に推進しています。

【課 題】

ＪＲ向洋駅は、マツダ株式会社本社最寄り駅となっており、一日当たりの駅利用者数は約1万9千人（令和3年）と県内でも6番目に利用者が多い駅ですが、駅周辺は防災上危険な密集市街地が残っており、広島都市圏東部地区の地域の拠点として、また町の南の玄関口として活力と賑わいに欠け、交通結節拠点としての機能も乏しい状況にあることから、土地地区画整理事業と連続立体交差事業を一体的かつ計画的に進め、都市機能の強化や都市の強靱化を図っていく必要があります。

また、事業が長期化することにより地域住民をはじめ、地元企業や関係者の負担が大きくなることから、早期事業完了についての要望があることを踏まえ、更なる事業の推進が必要です。

これまでの状況及び今後の計画

向洋駅周辺土地地区画整理事業（A=約12.2ha）

平成14年11月	事業計画の決定
平成20年 1月	北側仮換地指定、家屋移転補償、工事
平成23年 3月	ＪＲ向洋駅仮設北口改札開設
平成25年度以降	南側仮換地指定、家屋移転補償、工事
令和14年度	工事完成
令和15年度	換地処分、清算

【参考】広島市東部地区連続立体交差事業（事業主体：広島県・広島市）

平成11年 3月	都市計画決定
平成14年 3月	事業認可
令和元年 5月	都市計画変更
令和元年10月	事業認可
令和 2年10月	工事着手

向洋駅周辺土地地区画整理事業整備状況

【令和5年度末事業整備予定】

- 画地面積ベース
6.03ha/7.82ha（全体）≒77%
- 移転補償ベース
191戸/222戸（全体）≒86%
- 事業費ベース
138億円/177億円（全体）≒78%

【令和5年度国費ベース】

		要望額	内示額	内示率
防災・安全交付金		242,943	242,943	100.0%
(内訳)	令和4年度補正繰越分			
	基幹事業（道路）	52,250	52,250	100.0%
	基幹事業（市街地整備）	187,400	187,400	100.0%
	令和5年度現年分			
	基幹事業（道路）	1,243	1,243	100.0%
	基幹事業（市街地整備）	2,050	2,050	100.0%

（単位：千円）

【向洋駅南口周辺状況】



【向洋駅北口周辺状況】



提案概要

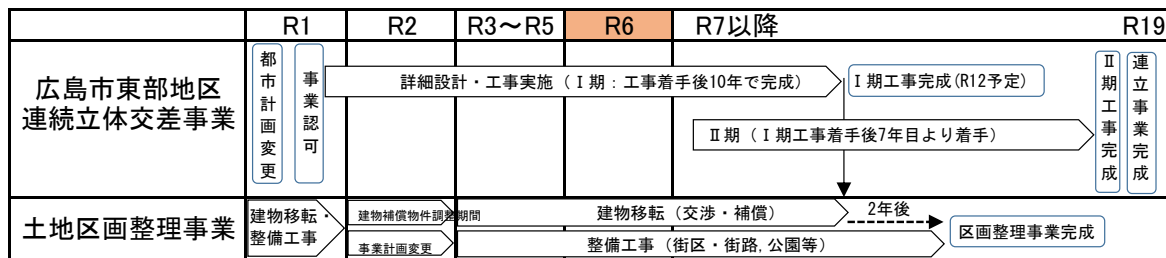
向洋駅周辺土地区画整理事業に係る社会資本整備総合交付金の確実な配分

関連事業である広島市東部地区連続立体交差事業は、事業見直しのため約7年間中断していましたが、令和元年5月に都市計画変更、同10月に事業認可を取得し、令和2年10月に工事着手しているところですが、

本土地区画整理事業は、連続立体交差事業の事業認可に合わせて、令和3年4月に事業計画の変更、事業スケジュールの調整を行い、連続立体交差事業の影響を受けない箇所から整備を行っています。

今後も引き続き両事業を推進することにより、安心・安全で快適に暮らせる環境の確保や利便性の向上、賑わいの創出、商業の活性化など様々な効果が期待されます。

そのため、連続立体交差事業が本格着手された中で、本事業も着実に推し進める必要があり、継続的な事業費の確保が必要となることから、社会資本整備総合交付金の確実な配分を要望します。



【令和6年度末事業整備予定】

- 画地面積ベース 6.11ha/7.82ha（全体）≒78%
- 移転補償ベース 205戸/222戸（全体）≒92%
- 事業費ベース 147億円/177億円（全体）≒83%

【令和6年度事業計画概要】

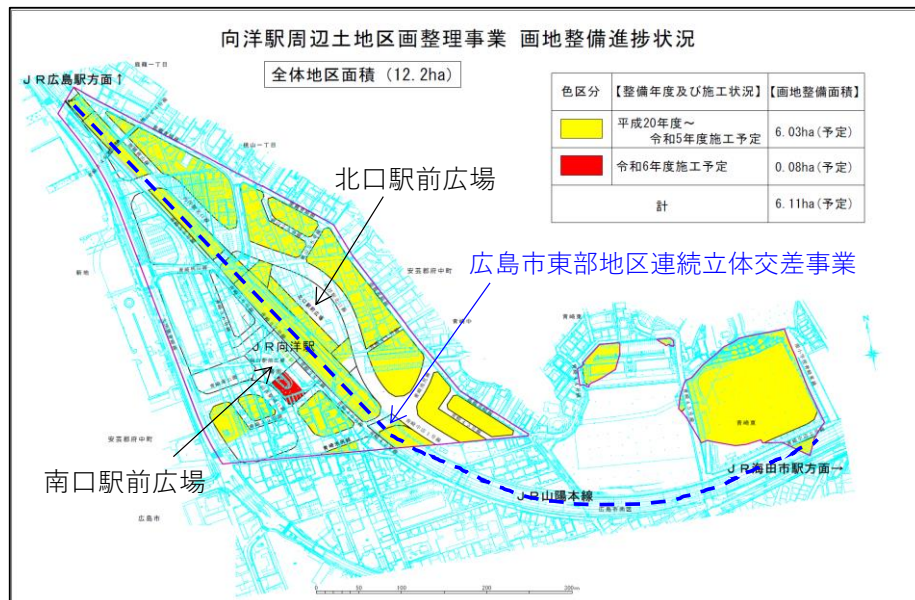
- 移転補償 建物移転戸数（14戸）
- 整備工事 構造物撤去（130㎡）

【令和6年度執行予定】

- 整備計画名：府中町中心市街地のにぎわい再生と安全・安心なまちづくり（防災・安全）
（単位：千円）

	補助対象事業費	512,986
国費	防災・安全交付金	265,980
（内訳）	基幹事業（道路）	104,357
	基幹事業（市街地整備）	161,623

【事業箇所】



提 案 項 目	公共下水道事業の推進について				
事 業 主 体	府中町	事 業 期 間	S59～	提 案 先	国土交通省
提 案 要 旨	公共下水道の整備及び老朽化した既存施設の改築・更新のための事業費確保				

現状及び課題

【 現 状 】

当町の公共下水道事業は、「広島湾流域別下水道整備総合計画」を上位計画とし、住民の生活環境の改善と公共用水域の水質保全を図るため整備を進めており、公共下水道(汚水)の人口普及率は、98.9%(令和4年度末現在)となっています。

市街地の浸水対策として、3箇所の雨水ポンプ施設を整備しており、現在は「府中町下水道ストックマネジメント計画」に基づき、計画的かつ効率的に維持管理を行っています。

また、本事業は、「府中町国土強靱化地域計画」において、当町の国土強靱化を図る上で重要な事業と位置付けており、雨水事業は太田川水系流域治水プロジェクトにも位置付けています。

【 課 題 】

- ①汚水管渠の面整備及び維持管理
- 汚水管渠は、10年概成を目標に狭小道路のある地区の面整備事業を推進していく必要があります。平成元年より供用開始しており、供用開始後20年以上が経過した汚水管渠が約56%あることから、下水道ストックマネジメント計画に基づき点検、調査、改築更新を行っていく必要があります。
- ②雨水ポンプ場、雨水管渠の改築更新、耐水化及び内水浸水リスクマネジメント
- 雨水ポンプ場や昭和40年代から60年代にかけて整備された幹線管渠を、下水道ストックマネジメント計画に基づき、改築更新を継続して進めるとともに、耐水化計画に基づき雨水ポンプ場の耐水化を進めていく必要があります。また、内水浸水想定区域図を作成することにより、頻発する大雨等による内水浸水へのリスクマネジメントを進めていく必要があります。

これまでの状況及び今後の計画

社会資本整備総合交付金事業(令和4～10年度の7箇年)

1 下水道事業：社会資本整備総合交付金（汚水面整備事業）

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
下水道処理人口普及率	98.9%	99.2%	99.5%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

2 下水道事業：防災・安全交付金（ストックマネジメント支援事業、内水浸水リスクマネジメント推進事業）

対象施設		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
汚水管渠	汚水管渠	点 検 業 務						
		改 築 工 事						
雨水ポンプ場 (府中P)	機械設備	更 新 工 事						
	土木・建築			耐水化工事				
雨水管渠	府中1号幹線	改築工事						
	茂陰1号幹線	設計業務	改 築 工 事					
	鹿籠2号幹線				耐震診断	設計業務	改 築 工 事	
雨水	事業計画区域			内水浸水想定区域図作成				

提案概要

下水道事業に係る社会資本整備総合交付金の確実な配分

下水道は、住民の安心・安全で快適な生活を確保し、社会経済活動を根底から支える都市の基盤であり、着実な整備及び適正な維持管理により、初めてその役割を果たすものであることから、安定した事業費の確保を要望します。

【令和6年度事業】

○ 整備計画名：府中町公共下水道

(単位：千円)

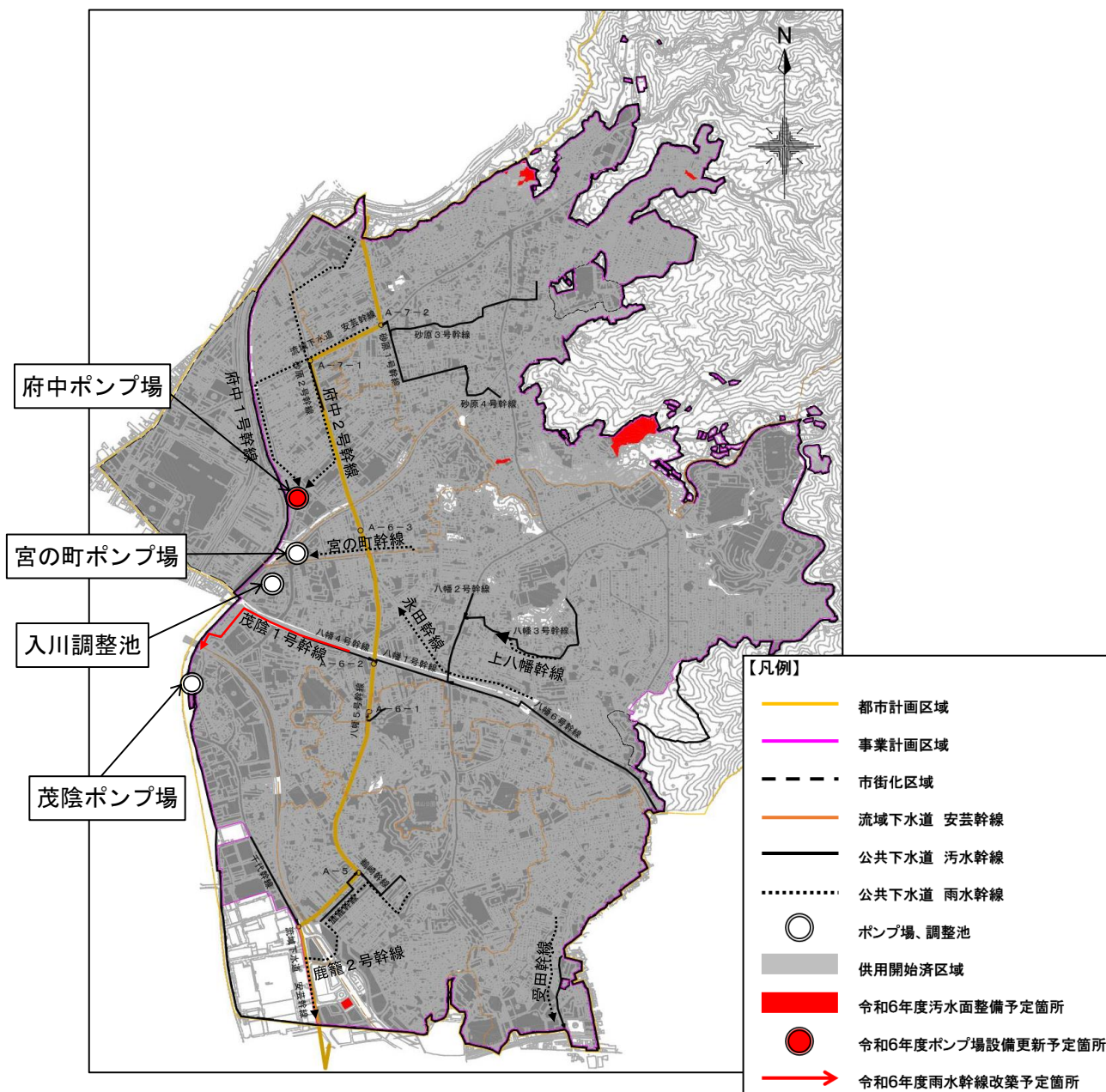
	補助対象事業費	98,000
国費	社会資本整備総合交付金	49,000

○ 整備計画名：府中町公共下水道（防災・安全）

(単位：千円)

	補助対象事業費	344,050
国費	防災・安全交付金	172,025

【事業計画区域】 府中町公共下水道整備計画図



提 案 項 目	史跡の保存・整備事業の推進について				
事 業 主 体	府中町	事 業 期 間	R4～	提 案 先	文部科学省 (文化庁)
提 案 要 旨	史跡下岡田官衙遺跡の保存・整備事業の着実な推進のための事業費確保				

現状及び課題

【 現 状 】

下岡田遺跡は、府中町の西部に位置し、昭和32年、城ヶ丘団地入口道路工事の際に発見されました。昭和38年から9次にわたる発掘調査を行い、平成28年度からは文化財担当者を2名増員するとともに、下岡田遺跡調査指導委員会を設置。その指導の下、第10次・第11次発掘調査を実施しました。

第1次～第9次調査成果及び第10次・第11次調査の内容を整理・検討し、下岡田遺跡調査指導委員会に諮りながら、文化庁文化財第二課及び広島県教育委員会事務局文化財課の協力と指導を得て、令和元年度に遺跡の価値付けを行った報告書を作成しました。翌年の令和2年7月15日付けで文化庁へ意見具申を行い、令和3年3月26日に「下岡田官衙遺跡」として史跡指定を受けました。

【 課 題 】

遺跡周辺の宅地化が進み、地権者が高齢化し世代交代が進んでいる状況を踏まえ、早急に本遺跡の保存活用計画を策定した上で用地取得を行い、先人の残した貴重な営みを後世に伝えるため、保存及び活用の措置を講ずる必要があります。

これまでの状況及び今後の計画

【 これまでの状況 】

- 発掘調査
第1次調査（昭和38年度）～第12次調査（令和3年度）
- 下岡田遺跡の普及・啓発事業として講座を開催（平成22年度から毎年実施）
- 府中町文化財担当者配置：主幹（平成28年度～令和元年度、令和4年度～）、主査（平成28年度～）
- 府中町下岡田遺跡発掘調査報告書Ⅰの刊行（令和元年度）
- 令和3年3月 国指定（史跡）
- 令和3年4月 埋蔵文化財専門職員を採用（会計年度任用職員）
- 令和3年6月 下岡田官衙遺跡を管理する地方公共団体として指定を受ける
- 令和4年6月 下岡田官衙遺跡保存活用計画策定業務に着手
- 令和5年4月 下岡田官衙遺跡保存活用計画策定業務（2年目）

【 今後の計画 】

保存活用計画に基づき、史跡を保護するため、地権者の同意を得ている史跡指定地の用地購入を実施します。

令和6年度	令和7年度
不動産鑑定測量 用地取得 (約1,800㎡)	不動産鑑定測量 用地取得 (約500㎡)

提案概要

文化財保存事業費関係国庫補助金の確実な配分

令和6年度は、保存活用計画に基づき、史跡指定地のうち地権者の同意を得ている土地の購入を実施するための国庫補助金の確実な交付を要望します。

○目的

史跡指定を受けた下岡田官衙遺跡を着実に保存、活用及び整備するため、公有地化を推進します。

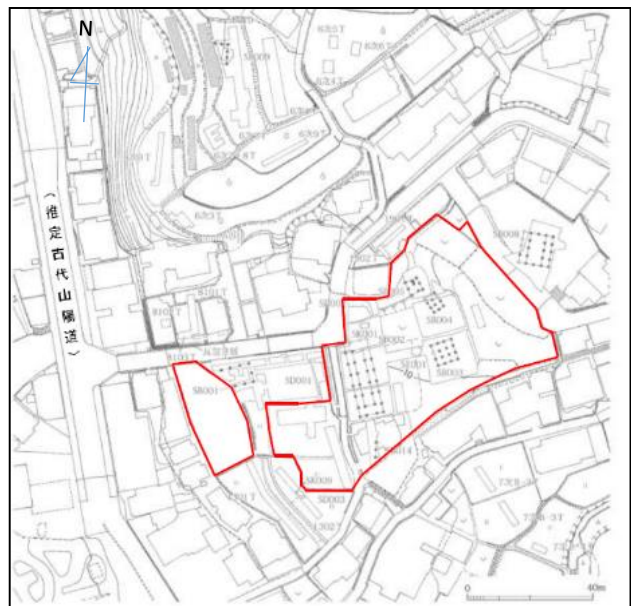
○事業概要

地権者の同意を得ている対象地の測量、鑑定及び購入を行います。

(単位:千円)

補助対象事業費		299,353
国費	史跡等購入費国庫補助金	239,482

【史跡指定箇所】



下岡田官衙遺跡の範囲（赤枠が史跡指定対象地）



礎石建物跡

【関連事業（補助金対象外事業）概要】（参考）

○普及・啓発事業

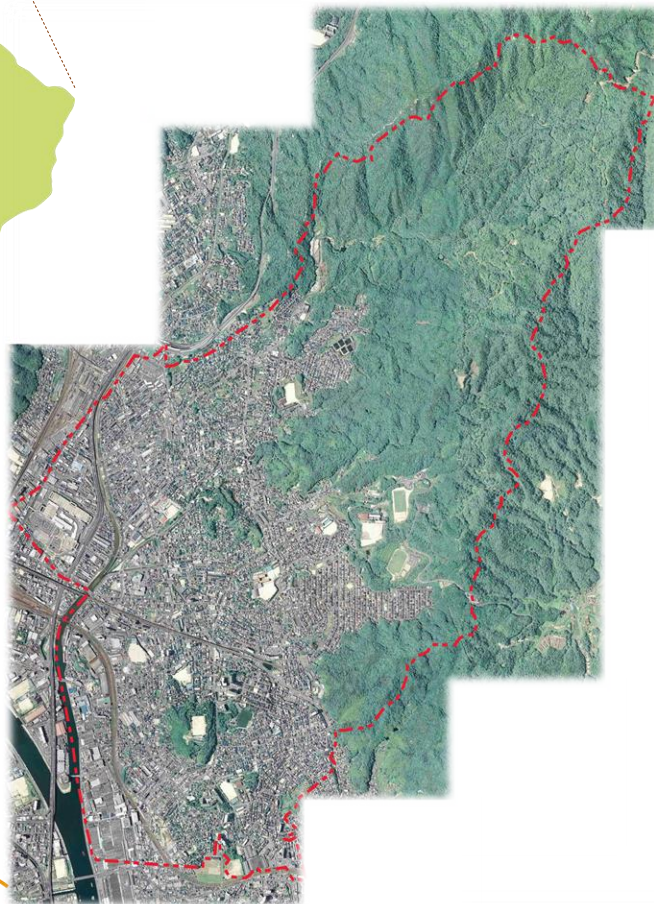
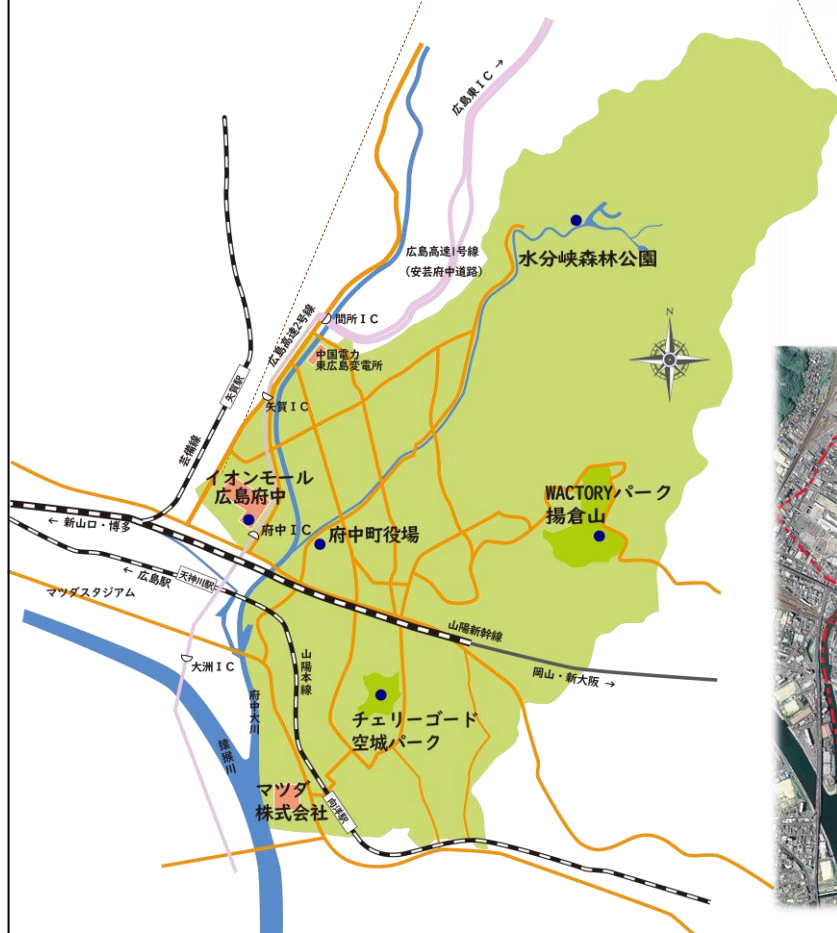
子どもを対象に下岡田官衙遺跡に関する講座の実施

成人を対象に下岡田官衙遺跡に関する講座・講演会の実施

◆府中町の広域的位置◆



◆府中町の土地利用状況◆



- ・まちの人口：52,703 人（令和 5 年 10 月 1 日現在）
- ・まちの面積：10.41 km²（市街化区域 5.64 km²）
- ・まちの人口集中地区（令和 2 年国勢調査）
DID 区域面積：5.78 km²，DID 区域人口密度：8,805.0 人/km²

広島県 府中町

〒735-8686

広島県安芸郡府中町大通三丁目 5 番 1 号

電話 (082) 286 - 3121（政策企画課）

FAX (082) 286 - 3199

Mail kikaku@town.fuchu.hiroshima.jp